



令和4年4月27日
発行 美保だいせん会
印刷 東京印刷株式会社

航空支援集団 司令官が部隊初度視察

懇談を実施し、各級隊員らを激励

3月25日(金)、第3輸送航空隊、美保管制隊、美保気象隊は、航空支援集団司令官・森川龍介空将の部隊初度視察を受察した。

森川司令官は入門後、基地慰霊碑「天翔の碑」において献花を実施し、栄誉礼での出迎えを受けた後、直ちに基地内各所の視察を開始した。

美保管制隊では管制塔から基地内の状況を確認、その後、美保気象隊に移動し気象隊庁舎の視察等を実施した。

隊長、准曹士先任及び各特技分隊長との懇談において、森川司令官は准曹士先任らに対し「困難な状況にあっても挑戦をあきらめずはならない。先任だけがやめるのではなく、先任は全体を見渡し上級者に動機づけをさせ、上級者が中堅を指導し、中堅が3曹、空士を引っ張っていくようにしなければならぬ。」(要旨)各特技の分隊長らに対しては「別の群、別の隊の隊員に躊躇なく指導できる雰囲気づくりをし、率先して若年隊員の範であるように(要旨)と各級の隊員達に激励の言葉を述べられた。



天翔の碑にて献花



主要幹部との懇談



森川司令官の巡閲を受ける



管制塔から基地内の状況を確認



気象隊庁舎を視察



落成したKC燃料格納庫



KC-46A初号機の前で記念撮影

JASDFの表示
KC-46Aの活躍は、航空自衛隊のエアパワーを表し、かつ日米同盟の強化をも表すこととなるため、諸外国に広く知られている航空自衛隊の英語名: Japan Air Self-Defense Forceの頭文字である「JASDF」と表示することとした。

最後に、同機の視察及び参加者による記念撮影を実施し式典を終了した。

3月25日(金)、美保基地はKC-46Aの配備とKC燃料格納庫落成の記念式典を挙行した。

式典は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から参列者を部内者に限定し実施した。

はじめに、與儀3輸送隊司令が「我が国を防衛し、かつ日本として相応しい世界への貢献を実現するために、自衛隊の『機動力の発揮』『持続力の発揮』がカギの一つとなるのは明らかです。KC-46Aが有する輸送力及び給油能力は、我が国の防衛が必要とする機動力と持続力を支える柱となることに加え、国内外で頻発する災害等、あらゆる不測の事態への備えも兼ねるものです。日米同盟の強い証となるKC-46Aを美保基地で運用することに、隊員一同、身の引き締まる思いとともに、誇らしさを感じています。これからも皆様の信頼に応え得る基地、また、精強な輸送機部隊として成長していくことを誓いします。」(要旨)

続いて、森川航空支援集団司令官が「KC-46Aの導入は、戦闘機部隊、警戒航空部隊等が我が国周辺空域等で各種作戦を持続的に遂行し得るようになることが目的であり、日米同盟の抑止力及び対処力の強化に直接的に繋がる象徴的装備といっても過言ではありません。與儀隊司令をはじめとする第3輸送航空隊、美保管制隊、美保気象隊の全ての隊員が航空支援集団の隊員としての矜持のもと、様々な課題に真摯に取り組む本日に至るまで、それぞれの役割、任務を着実に果たしている隊員諸官に改めて敬意を表します。新たな任務を遂行するその日まで、全隊員が一丸となり、しっかりと画龍点睛を怠らぬよう職務に邁進することを強く期待します。」(要旨)と訓示を述べた。

KC-46A配備・燃料格納庫落成式典を実施 KC燃料格納庫を来賓に披露



機内へ防弾チョッキ等を搭載する

3月10日(木)、第3輸送航空隊は、ウクライナを支援するための防衛装備品提供(日本からウクライナ周辺国への空輸)をC-2輸送機により実施した。

同機には、防弾チョッキやヘルメットなどが梱包された貨物パレットが報道の取材を傍らに、整齊と積み込まれた。

派遣隊は夕刻に隊員らが見送る中、目的地であるウクライナの周辺国へと向けて飛び立った。

ウクライナの隣国ポーランドまでの空輸を終えた同機は、3月16日(水)、隊員らに出迎えられ、美保基地に無事帰還した。



ウクライナ周辺国へ向けて飛び立った

ウクライナのために C-2輸送機による防衛装備品輸送を実施



ここに一枚の写真がある。実家で見つけたのだが約三十五年前、高校生だった私が美保基地航空祭を訪れ、当時ピカピカに輝いていたF104地上展示機の前で撮った笑顔の写真である。あの時、私はワクワクした気持ちで基地を訪れ、日頃見ることのできない人の多さに高揚し、地上でのC-130の轟音に驚き、人々がブルーインパルスの演技に「おー」「すごい」と笑顔で見つめる姿に感動した。

そして隊員の動作にカッコよさと頼もしさを感じ、照れ臭いのだが「ここに入りたい」と思ったのを覚えている。写真を見ると懐かしさと航空祭で訪れた基地で、定年を意識していることに不思議な感覚を覚え、なんとなく、自分自身を幸せな奴だなど感じている。

コロナ禍で航空祭が開催されず二年が経過し、航空祭を経験していない隊員も増えてきていると思う。そんな人たちが、少し大袈裟に聞こえるかもしれないが、山陰の人々、特に鳥取県西部の人たちは航空祭を毎年楽しみにしている。航空祭が近づくと「航空祭行く?」「ブルーインパルスは来るの?」「天気どうかな?」など学校、職場や家庭で話題に上がり、誰もが一度は家族や友人等で訪れた楽しい思い出の滞りを感じることがある。写真を見ると昔から変わらないし、訪れた人々の笑顔が思い浮かぶ。しばらくはマスクを外せないが、笑顔溢れる航空祭が私は大好きである。

飛行群准曹士先任が交代

宇津野 忠宏 准空尉から 西本 健司 空曹長へ

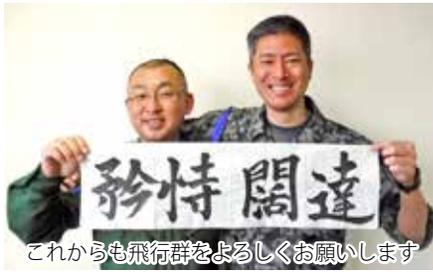
3月14日(月)、飛行群司令室において飛行群准曹士先任交代式が実施された。まず、准曹士先任識別章が第7代飛行群准曹士先任宇津野忠宏准空尉から松浦飛行群司令に返還され、次いで第8代飛行群准曹士先任西本健司空曹長へ同識別章が授与された。

松浦飛行群司令は、准曹士先任を下番する宇津野准尉の2年6カ月の功績を紹介し、労いの言葉を述べ、「新准曹士先任 西本曹長へ「身を分け、心を分ける、熱誠をもった隊員指導に努めてもらう事を期待します。」(要旨)と訓示した。

交代式後のインタビューにおいて、下番する宇津野准尉は「お世話になりました。群本部、403飛行隊、405飛行隊がワンチームとなり、益々精強な飛行群



飛行群司令から准曹士先任識別章を授与される西本曹長



これからも飛行群をよろしく願います

となることを希望します。ありがとうございます。と飛行群への思いと感謝を語った。

上番する西本曹長は「飛行群司令の指導方針(矜持闊達)を念頭に置き、チーム飛行群の准曹士の先頭に立って、身も心も仲間と分かち合いながら頑張ってください。」と決意を語った。

C-46 祈念碑へ

献花を実施

基地広報班、小川氏の祈りをつなぐ



小川氏の祈りと共に、與儀司令が献花

3月4日(金)、広報班はC-46 祈念碑前において、献花追悼を実施した。この祈念碑は、昭和32年3月4日、美保基地西方約780メートル付近において発生したC-46輸送機の墜落事故で17名が殉職したことを悼み建立された。

毎年、3月4日には事故当時、美保基地に勤務されていた小川清治氏が現在お住いの愛媛県から基地へ訪問し祈念碑に献花を実施しておられたが、近年は高齢で体調が優れないこともあり、基地広報班に献花用の花とお酒が届けられ、広報班員の手により献花が実



事故絶無の誓いを新たに

施されている。今回の献花には、與儀司令、蛭原監理部長、柴田准曹士先任も参加し、広報班員と共に事故絶無への誓いを新たにされた。

令和3年度

基地モニター委嘱終了

3月14日から3月24日にかけて、広報班は令和3年度美保基地モニター10名に対する委嘱終了のご挨拶と1年間のモニター活動を終えるにあたっての意見聴取を戸別訪問により実施した。例年は、モニター活動実施報告と意見交換会を美保基地において実施しているが、今年度は感染症の状況を踏まえたものである。

訪問では、今年度は多くの行事が中止となり、モニターの方々にご心配をお掛けしたことへのお詫びとモニターの皆様から頂戴した意見や感想等を紹介させて頂きながら、1年のモニター活動を振り返り、懇談を行った。



懇談では「参加できる行事が少なく、残念でした。」との声が多く、数少なかった行事に感謝し「基地の活動や警戒監視活動を、芯をこめてしっかりやりやっつて下さっていることを目の当たりにし、安心感を得ました。」と隊員たちの励みとなる感想や「自衛隊という特性上、コロナ禍には厳しい姿勢で臨まなければならぬ」と思っていますので、民間からは見えない部分でのご苦労をお察しします。」など、コロナ禍と戦う隊員たちに寄り添う感想をいただきました。



基地モニターの皆様、1年間ありがとうございました

私のお父さん、お母さん

城戸 ゆうりくん 中野 だいちくん 山本 はるきくん



左から：山本はるきくん 中野だいちくん 城戸ゆうりくん

僕たちは、住吉男子バレーボールの仲間です。全国で勝つのが目標です。そして「親が自衛官」つながりです。

お母さんは、いつも、やりたいことを全力でがんばっているところが大好きです。だから僕も全力を出します。

僕のお父さんはバレーの練習にきて教えてくれます。コロナで練習が休みの時は、家でできる自主練を考えてくれます。将来はお父さんみたいにバレーが上手になりたいです。

(施設隊 中野 欣也 2曹 長男)

お父さんは家族の為にいつも頑張ってくれます。中学校に行っても、バレーを一生けん命がんばります！

(陸自3飛 山本 美輝 曹長 四男)

航空自衛隊美保基地
Japan Air Self-Defense Force

令和4年度に開催を検討していましたが
「美保基地航空祭」は、新型コロナウイルス
感染状況を踏まえ、実施しないこととしました。

多くの皆様が美保基地航空祭の開催を楽しみにされていたことと存じますが、ご理解頂きますようお願い申し上げます。

故事成語

No.247 陶朱 猗頓の富
● 百万の富のこと。

「陶朱」とは、中国春秋時代の越王勾践に仕えた名臣范蠡のこと。越の国を去った。その後、商人となって大もつげ!!

また、中国春秋時代の魯の国の人。魯の国の人。陶朱公に教えをうけ、牛や羊を飼って大富豪となった。

よって、陶朱猗頓の富は、百万の富や、富豪をたどる言葉である。

美保基地ファンからのお便り

せれんオリジナルカレンダーが届く

コロナ禍で美保基地の見学などが制限される中、兵庫県にお住いの美保基地ファン、せれん君から「美保基地のみなさんへ」とのお手紙が届きました。お手紙には、鳥取へ旅行に行った際に美保基地の近くまで来てC-2やT-400を見た事、KC-46Aの初号機が美保基地に来た事の嬉しさや、美保基地航空祭開催への期待など、せれん君の思いが綴られ、美保基地のみなさんへ「おしごとがんばって下さい」と応援のメッセージが込められていた。

せれん君からいただいたカレンダーには、美保基地の航空機の写真がちらりちらり見えており、どの月も素晴らしいデザインばかりであった。

カレンダーは「一番引き立つ」として、飛行群司令「せれん君、ありがとうございます」とニコニコ笑った。



職場紹介

飛行群第405飛行隊 飛行班

フレッシュな精鋭達

What's up Daisens readers? (だいせんをご覧の皆さまお元気ですか?) 今回はできたてホヤホヤの

浜松基地広報班が航空機を取材

映像は浜松エアパークで展示

1月18日から1月21日までの間、美保基地において浜松基地広報班から派遣された隊員らによるC-2輸送機及びKC-46A空中給油・輸送機の取材が実施された。

この取材は浜松広報班エアーパークの新たな展示物として撮影された。

折、山陰特有の厳冬の気象に見舞われながらも、滑走路脇等からの迫力ある映像を得るため、果敢に撮影を実施した。

デジタルサインージュには航空自衛隊の多くの航空機が収録されて

第405飛行隊 飛行班を紹介します。我が飛行班は、最新の空中給油機KC-46Aを自在に操ることになる操縦士及び空中輸送員(兼ねてARO (Air Refueling Operator) (別名BO (Boom Operator) (とも)で構成されており、飛行隊の飛行運用を主に担っておりま

す。使用機種であるKC-46Aは導入直後であり、保有機数も、飛行班員の数も少ないものの、最新機種の運用試験に携わることを誇りとした、「フレッシュ」な組織であります。(平均年齢は40をこえてはいますが...) 全搭乗員は、KC-767での豊富な部隊運用経験を有し、また、米空軍において(100%英語での)KC-46Aの転換教育を受けておりますので、空

自における空中給油の少数精鋭であると自負しております。空中給油機は、世間一般的にマイナーな機種ではあるものの、航空作戦における大きな陰の立役者です。本稿での細部紹介は控えませんが、興味のある方はどんな些細な質問でも構いません。是非その疑問をぶつけてみて、タンカーマニアになってみませんか?

【広告:急募!我が社ではKCパイロットとAROを絶賛募集中です☆】

おり、今回取材を受けたC-2輸送機も登場し、躍動感あふれる映像を楽しめる作りとなっている。

浜松へ足を延ばす機会があれば、是非エアパークに立ち寄り、美保基地協力のデジタルサインージュを楽しんで下さい。

皆さん、こんにちは。今回紹介させて頂くホープは、長崎ちゃんぽんとカステラで有名な長崎県出身の西村士長です。特技職は飛行管理。前職は長崎空港で全日空(ANA)のグラウンドスタッフとして勤務していました。特技は英会話です。大学生の時には、3度の海外留学を経験し、全日空に勤務していた時は、国際線で外国人の搭乗手続き等を担当していました。

高校時代の部活動はラグビー部としてチームを支えてきました。2019年には、ラグビーワールドカップで日本代表を応援するため、スタジアムに足を運んでいました。西村士長の趣味は、ドライブです。ドライブで行く先々のカフェや温泉で一時を楽しむのが好き



デジタルサインージュ (迫力あるC-2の映像)



1, 2, 3輸送航空隊

小牧基地、入間基地、美保基地

全国の基地に人やモノを航空機を用いて輸送する。陸上自衛隊第1空挺団の支援空中給油等様々な形で部隊を支援する。



ホープ登場

信頼と安定のハイスペックホープ

基地業務群飛行場勤務隊

西村 篤人 士長

皆さん、こんにちは。今なようです。すでに皆さんにある温泉はすべて制覇しています。

そんな西村士長の職場の様子は、とても落ち着いた感じがあります。全日空での勤務経験があるため電話対応や、喋嗟の出来事への対応力は新人とは思えないほどです。パイロットや他部隊からの質問にも、根拠規則などを確認してから正しい情報を提供しています。今後の活躍が楽しみな西村士長ですが、最後に意気込みを語ってもらいます。「近年海外での活動の機会が多くなっているため、その際に持ち前の英語力をもって活躍できるよう頑張っています。私たちは、部隊の主力となる西村士長の活躍を期待しています。」(飛勤隊 新井士長)

家庭訪問

整備補給群補給隊

平野 雄大 3曹宅の巻

「生計(整形)にはお金が必要!」



笑顔から「優しさ」があふれ出ていますね

今回は、整備群補給隊の平野3曹のお宅に突撃してまいりました。

平野3曹は、令和3年の3月に入間の1高群から補給隊に転属してきて、1年くらいになります。普段は、真面目に仕事をしており、いろいろな知識を持って優秀そうに見えますが、本人曰く全部知ったかぶりか、浅知恵で、何も分かっていないそうです。

そんな平野3曹は、自衛隊入隊前は鳥取大学に在学していた時にアルバイトしていた靴屋で、一緒に働いていた現在の奥様と出会い、お付き合いをはじめ、2年程の交際期間を経て結

婚したそうです。交際を開始したころは、イカつくカスタムをしたアメリカンバイクに乗り、遊び回っていたそうですが、結婚をした今は、夢のマイホーム購入に向けかわいらしい軽自動車に乗る節約家にならなっています。

お宅には、元気でよくしゃべるかわいい5歳の娘さんと平野3曹のクローンのような4歳の息子さんがいて遊びまわり、優しいような奥様と幸せな生活を送っているようにみえました。

平野家の教育方針は、「こめんなさい。と、ありがとう。が言える子にする」だそうです。のびのびしながらも、礼儀正しいお子様たちが出てきてくれました。奥様に、平野3曹の良いところ悪いところを伺うと、「良いところは、優しいところ、悪いところは顔ですね」というボケに、「しゃべらないやろー直したいけどいい顔に直すのに金が山ほどかかるんやー」と笑いながら返す平野3曹がおり、たった一つの質問で平野家の和やかな雰囲気が伝わってきました。

これから、家庭と補給隊を引っ張って、いってくださるであろう平野3曹に期待しています。

ふるさとバンガイ

奈良県の知られざる魅力

～奈良県～

美保管制隊 霜中 聡 空士長

皆さんこんにちは、美保管制隊の霜中士長です。本日は私の産まれた地である奈良県の紹介をしたいと思います。

まず奈良県と聞いて多くの方が思い浮かべるのは、間違いなく「鹿」「大仏」「寺」と思いますが、他にも有名な食べ物や建物、世界遺産にも登録されている平城京跡地、その平城京跡地内を電車が横断する線路があり世界遺産の電車道を横断出来るのは世界広しといえど奈良県だけではないでしょうか。

他にも若草山ではここでしか出来ない大会も開催されています。鹿せんべい飛ばし大会です!

誰が一番遠くへ飛ばせるかというのを競う簡単な競技ですが皆さんが考えるよりも難しい大会となっております。まず、鹿せんべいは



若草山の鹿

のほか魅力あふれるのが私故郷である奈良県です。皆さんもぜひ一度遊びに来てください。

私の宝物

室内から、さあ仮想空間へ!

その怪しさの奥に別世界が広がっている

皆さんはメタバースという言葉を知っていますか? そうです。最近何かと話題のアレです。詳細は省きます。

「私」の宝物は「VRゴーグル」です。VR装置が「私の」のメタバースに

うして遊んでいるところを写真で見ると自分でもパッと見怪しいと思います。さらに部屋の中の住人からは「パッと見どころか何度見ても怪しいですよ」とか言われてしまっています。が、やっている本人は真剣です。(笑)

あまりアウトドアに興味がなく、何かと引き籠りがちな私に外の世界を見る機会を与えてくれました。ちよつとした英語で話せるメタバースの世界に未だ国境はできていません。隣にいる小さな女の子はアメリカ人男性かもしれません。向こうにいるカッコいいメカは韓国女性かもしれません。私自身、自衛官であることを誰にも話していませんが、それが許される空間がメタバースの世界



部屋に入って「ビクッリ」するやつですよ



シミュレーターには大人も満足できない!



まぶしいほどの生命力に満ち溢れた新緑、さあ!お出かけして新緑パワーを満喫しましょう!!



空港の展望と機内食風の盛り付けがナイスマッチ

レジャースポット

ヒコキ好きが集う場所

千葉県成田市「航空科学博物館」

今回はちよつと遠い所ではありますが、千葉県にある航空ファンなら誰もが知る? 「航空科学博物館」を紹介いたします。

航空科学博物館は、皆さんよくご存じの成田空港に隣接していると言つていいほど空港の直ぐ近くにあり、平成元年に開館し、空モノ専門の博物館としては日本で一番歴史が長いのだそうです。

この博物館の展示品の数々の中で目玉となるものは、皆さんこれまたよくご存じのジャンボジェット。そう、初代政府専用機としても有名なボーイング747型機にまつわるものです。館内入ってすぐの大

ホールには実機が輪切りとなつて並び、その大きさに圧倒されます。直ぐそばでは大スケールの模型がゆらゆらりと舞つており、車輪が出たり、引つたり、車輪が動く様子など、翼も実機同様に動いています。「ほお、よく出来ているな!」と感心し、歩を進めると、何と!少し離れた所にある模擬コックピットから少年が係員の方の教えを受けながら先ほどの大スケールジャンボジェット模型を操作しているのです!これには更に感心です。

そのほかにもみんな大好き、リアルなフライトシミュレーター(もちろん別料金)が楽しめ、展望レス

トランからは実際に成田空港を離陸、着陸する飛行機達をおかずに機内食風ご飯も楽しめるのです。いつもただ通り過ぎるだけの成田空港という方が、案外多いかもしれませんが、この「航空科学博物館」へちよつと寄り道もオツなものですよ!大人も楽しめること間違いナシ!!

(旗ヶ崎在住、ヒコキ大好き47才)



屋外展示場も充実です。(あつ!アイエス先輩もいる!!)